

オホーツク連携地域政策展開方針の推進状況について

目 次

- ① オホーツク連携地域政策展開方針の概要 [P . 1]
- ② プロジェクトの推進状況 [P.2～6]
- ③ 評価指標（KPI）一覧及び分析・対応方向 [P.7～8]
- ④ R7年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組 [P.9～10]

令和7年(2025年)9月
北海道オホーツク総合振興局



オホーツク連携地域政策展開方針の概要

1 地域のめざす姿

全道でも有数の生産量を誇る農林水産資源や知床世界自然遺産・流氷などの優れた地域資源を活かし、自然と共生する快適な暮らしが広がる「オホーツク連携地域」

2 主な施策の展開方向

- オホーツクイメージの効果的な発信
- 特色ある豊かな資源を活かした観光の展開
- 安心して暮らせる地域社会の形成
- 農林水産業の強化
- 人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
- 暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成
- 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興
- オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興
- オホーツク地域への人口定着の推進

3 地域重点政策ユニット 全5プロジェクト

プロジェクト	主な施策
省力的・効率的な生産体制の整備などによる 農林水産業の強化プロジェクト	■ 高収益で安定的な生産体制の整備 ■ 担い手の育成・確保 ■ オホーツク産木材・木製品の利用促進
豊富な農水産物を活かした 食関連産業の振興プロジェクト	■ 多様な主体の連携促進 ■ 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進 ■ 良質な農水産物の販路拡大
多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への 来訪促進プロジェクト	■ オホーツクの魅力の効果的な発信 ■ 体験型・滞在型観光の推進 ■ 国内外観光客の受入体制づくりに向けた取組の推進 ■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化 ■ 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進
オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト	■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進 ■ 若年層の地元定着促進に向けた取組の推進 ■ 外国人材の受入拡大を見据えた多文化共生の推進 ■ 担い手の育成・確保（再掲） ■ 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進（再掲）
豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の 地域づくり推進プロジェクト	■ 豊かで優れた自然環境の保全と継承 ■ 地域資源を活かした「ゼロカーボン北海道」の推進

4 方針の推進期間

令和7年度（令和7年4月）から概ね5年

省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目 的

ICTを活用した高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、労働負担の軽減や労働力不足解消に向けたスマート農林水産業の推進などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図る。

これまでの主な取組・成果

■ ICTの活用など、高収益で安定的な生産体制の整備 [民間、市町村、振興局]



◀ オホーツク・スマート農業セミナー2025

開催日：令和7年1月15日

場 所：北見市

概 要：農業用ドローンの効果的な活用を図るため、ドローンの活用事例や展示メーカーからの情報発信など、農業現場に密着した研修会を開催。



◀ ケガニ栽培漁業に係る基礎技術水産開発試験の開始

場 所：東京農業大学

概 要：オホーツク管内ではケガニ資源が低水準にとどまっている。種苗の生産方法等が確立されていないことから、増養殖に係る基礎研究を推進する。

■ 担い手の育成・確保 [民間、市町村、振興局]

北見地域地材地消見学会

開催日：令和6年10月18日

場 所：北見市

概 要：地域材の活用に向けた意識の醸成や地元企業への就業機会創出を図るため、北見高等技術専門学院の学生を対象に、人工林伐採現場等の見学会を開催。



◀ 林業PR動画の作成

概 要：オホーツク地域の林業に興味を持ってもらい、就職の選択肢の一つとしてもらえるよう、仕事の魅力などを林業就業者が紹介する動画を作成し、動画共有サイトで配信。

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	76.6% (R4)	集計中	80.0% (R11)	—
増殖場造成による藻場面積の拡大	128,278m ² (R5)	132,578m ² (R6)	140,678m ² (R11)	94.2%
新規漁業就業者数	24人 (R5)	27人 (R6)	30人 (R11)	90.0%
建築材等の出荷量	46.7千m ³ (R5)	集計中	50.5千m ³ (R11)	—
地域住民との協働による森林づくり参加者数	8,432人 (R5)	12,710人 (R6)	8,900人 (R11)	142.8%

R7年度の主な取組

■ 農林水産業が一体となった一次産業と地域の魅力発信及び若手就業者を対象にしたコミュニティの創設等 [国、市町村、民間、振興局]

■ 屋根つき岸壁、取排水施設など衛生管理に配慮した漁港整備の推進 [振興局]

■ 担い手の確保に向けた、管内大学生と管内農業経営者の意見交換・研修会の開催や農業関係高校における出前授業の実施 [大学、高校、金融機関、振興局]

豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図る。

これまでの主な取組・成果

■管内産品の認知度向上及びブランド化〔民間、市町村、振興局〕



- ◀「地場産たくさんオホーツク弁当」
(通称：オホ弁)の開発・販売
概要：管内産品の認知度とブランド力の向上を図るため、管内事業者と連携し、令和3年度から「オホ弁」の開発・販売を促進。令和7年3月には新たに8事業者15商品が加わり、現在は計25商品を販売中。



◀オホーツク管内高付加価値化研修会

開催日：①令和6年12月19日
②令和7年1月17日

場 所：会場（北見市）及びWeb

概要：6次産業化に取り組む農業者を対象に、集客や売上、農場認知度などの拡大に向け、情報発信力の更なる向上を目指した「情報発信ツールの活用研修会」を開催。

■オホーツクの良質な農水産物の販路拡大〔振興局〕



- ◀オホーツクフェアの開催
概要：管内産品のPR及び販路拡大に向け、大都市圏にてフェアを開催。
- ①どさんこプラザ有楽町店
〔期間〕令和6年7月24日～30日
 - ②コーチャンフォー若葉台店・つくば店
〔期間〕令和6年7月19日～8月23日
 - ③どさんこプラザあべのハルカス店
〔期間〕令和6年12月11日～17日



◀食べて応援！オホーツクスタンプラリー2024

期 間：令和6年9月20日～11月30日

概要：オホーツク地域産農畜産物を使用したスイーツや乳製品等を扱う49店舗を巡るスタンプラリーを通じて、地域農業の理解醸成や地産地消を促進し、オホーツクの農業と生産者の応援者を増やすことを目的として開催。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
「オホーツクブランド認証」新規認証件数	—	集計中	延べ100件以上 (R7～R11)	—
農業団体の農畜産物輸出货量	2,151t (R5)	集計中	2,366t (R11)	—

R7年度の主な取組

■「地場産たくさんオホーツク弁当」の管内外へのPRを通じた、管内産品の認知度向上及び高付加価値化〔民間、振興局〕

■航空会社等との連携により道外等への販路拡大を目指すセミナーの開催〔民間、振興局〕

■道内外における北海道どさんこプラザマーケティングサポート催事制度等を活用した販路拡大の促進〔振興局〕

多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツク A I（エリア・アイデンティティ）活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、地域の有するポテンシャルを活かし、新たな需要の獲得に向けて観光の振興を推進する。さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致など、オホーツクへの来訪促進の取組を総合的に展開する。

これまでの主な取組・成果

■市町村と連携した道内外での観光プロモーション [市町村、振興局]



- ①大ほっかいどう祭（札幌ドーム）
〔期間〕令和6年7月27日～28日
- ②北海道情報交換会名古屋会場（愛知県）
〔期間〕令和6年9月4日
- ③ツーリズムEXPOジャパン2024（東京都）
〔期間〕令和6年9月26日～29日
- ④オホーツクフェア inチ・カ・ホ（札幌市）
〔期間〕令和7年1月22日～23日

■管内18市町村が連携した地域PR [市町村、振興局]



◀ポータルサイトを活用した地域PR情報の発信

開設日：令和4年4月1日

概要：管内18市町村と振興局が一体となって運営可能な総合的なプラットフォーム「オホーツクルNOW」を通じて、地域の様々な情報や魅力を一元的に発信。

■魅力ある地域資源を活用した地域PR [市町村、振興局]



- ◀「オホーツク周遊クイズラリー2024
つくつくオホーツクからの挑戦状！」の実施
開催日：令和6年8月5日～10月31日
概要：オホーツク地域の認知度向上を図るため、地元住民や観光客を対象としたクイズラリーを実施。クイズ正解者の中から抽選で管内特産品をプレゼント。

■観光客の受入体制づくりの推進 [振興局]

全3回 オホーツク地域「観光人材研修」＜概要＞

- 第1回：令和6年11月20日（北見市）
- 第2回：令和6年12月10日（紋別市）
- 第3回：令和6年12月20日（網走市）

観光人材を育成するため、オホーツク管内で活躍する専門家を招いての講演とグループワークをとおして知識や技能の向上を目指す研修会を開催。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	60.4%（R5）	58.9%（R6）	72.1%（R11）	81.7%
観光入込客数	859.3万人（R5）	903.6万人（R6）	988.0万人以上（R11）	91.5%
管内空港利用客数	83.4万人（R5）	87.7万人（R6）	116.2万人（R11）	75.5%

R7年度の主な取組

- 市町村、観光協会、事業者等の関係者と連携した道内外における観光プロモーションの実施 [市町村、振興局]
- 関係者と連携した観光人材の育成支援事業などによる、国内外の観光客の受入体制整備 [市町村、振興局]
- 「オホーツク周遊クイズラリー2025」の実施など、道内外への魅力発信 [オホーツク A I 推進協議会、市町村]

オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツクの豊かな農林水産資源を活かした地域産業力の向上や、優れた自然環境を活かした取組により、オホーツクの魅力を向上させ、産業・雇用の創出をはじめ、関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■移住・交流フェアへの出展 [市町村、振興局]



◀ 北海道移住・交流フェア2024

開催日：令和6年10月18日～19日

場所：産業貿易センター（東京都）

概要：オホーツク地域への移住・定住の促進や関係人口の拡大を図るため、管内市町村の魅力や仕事情報を発信。

■管内の移住・定住情報を掲載したガイドブックの作成 [市町村、振興局]



概要：道内外から移住を考えている方に向けて、オホーツク地域の魅力を広く発信するとともに、移住の手引きとして活用できるガイドブックを作成。各種イベント・フェアにて配付。

■新規学卒者等の地元就労、離職防止及び職場定着の推進 [民間、市町村、振興局]



◀ 人材確保・定着促進セミナーの開催

開催日：令和6年11月25日～27日

場所：北見市、網走市、紋別市

概要：管内3地域において、農林水産業や建設業など幅広い業種の管内企業を対象に「人材確保・定着促進セミナー」を実施。



◀ 高校生向け出前型ワークショップ

開催日：令和6年12月17日

場所：北海道北見緑陵高等学校

概要：高校生を対象に、地域の仕事の魅力や地元で働く選択肢があることを知ってもらうため、地域で働く社会人と連携したワークショップを実施。

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者の管内就職内定率	67.4% (R5)	73.2% (R6)	76.6% (R11)	95.6%
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	69.4% (R1～R5平均)	集計中	73.7%を上回る (R7～R11平均)	—

R7年度の主な取組

■「地域おこし協力隊広域おためしインターン」の実施や移住パンフレットのデジタル化など、関係人口の拡大や移住定住の促進 [振興局]

■高校生向け出前型ワークショップにおいて、農林水産業の魅力発信を強化 [民間、振興局]

■合同企業説明会を通じた新規高卒者（在校生含む）の管内就職への動機付け [振興局]

豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

知床世界自然遺産や流氷などオホーツク地域が誇る豊かで優れた自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、バイオマス資源などを有効に活用した再生可能エネルギーの利活用、森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進することにより、自然との共生を図りながら、持続可能な脱炭素型の地域づくりを進める。

これまでの主な取組・成果

■「オホーツク流氷トラスト応援団」の設置と産官学民共働による持続可能な地域づくりの推進〔民間、市町村、振興局〕



◀ 共働PRや事業の実施

概要：北海道観光PRキャラクターキュンちゃんとはコラボし、参画企業店舗や車輦等管内全域での共働PRを実施。また、参画企業同士を繋ぎ、新たな共創・共働事業の取組等を展開。
※R7.3月末現在、201社・団体が参画。

■「オホーツク管内ゼロカーボン連携ネットワーク」を活用した管内の脱炭素化推進〔民間、市町村、振興局〕



◀ 民間企業と市町村を繋ぐ連携会議の開催

概要：連携会議の開催を通じて民間企業と市町村を繋ぎ、情報共有を図ることにより、各市町村の脱炭素施策意欲向上や、官民連携を推進。

■公共交通の利用促進と「オホーツク流氷トラスト運動」を兼ねたキャンペーンの実施〔民間、振興局〕



◀ 公共交通に乗って流氷を守ろうキャンペーン

期間：令和6年11月25日～令和7年2月28日

概要：「オホーツク流氷トラスト運動」の一環として、流氷保護の重要性等を地域住民等に広く周知しながら、公共交通の利用促進を呼びかける「公共交通に乗って流氷を守ろう！キャンペーン」を実施。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
ゼロカーボンシティ表明市町村数	14市町村（R5）	15市町村（R6）	18市町村（R11）	83.3%
新エネルギー発電設備容量	29.1万kw（R3）	31.6万kw（R4）	51.2万kw（R11）	61.7%
間伐の実施面積	—	集計中	7,857ha/年（R7～R11）	—
植林の実施面積（人工造林）	—	集計中	2,064ha/年（R7～R11）	—
エゾシカ捕獲目標達成率	—	集計中	100.0%（R7～R11）	—

R7年度の主な取組

■広葉樹材の需給マッチング支援やイベントでの木製品の魅力発信など、広葉樹材等の利活用促進による脱炭素化の推進〔振興局〕

■知床の世界自然遺産登録20周年を契機とした環境保全意識の醸成〔国、市町村、振興局〕

■オホーツク流氷トラスト応援団を活用した産官学民共働による持続可能な地域づくりの推進〔民間、市町村、振興局〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	76.6% (R4)	集計中					80.0% (R11)	—
	増殖場造成による藻場面積の拡大	128,278m ² (R5)	132,578m ² (R6)					140,678m ² (R11)	94.2%
	新規漁業就業者数	24人 (R5)	27人 (R6)					30人 (R11)	90.0%
	建築材等の出荷量	46.7千m ³ (R5)	集計中					50.5千m ³ (R11)	—
	地域住民との協働による森林づくり参加者数	8,432人 (R5)	12,710人 (R6)					8,900人 (R11)	142.8%
豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト	「オホーツクブランド」新規認証件数	—	集計中					延べ100件以上 (R7～R11)	—
	農業団体の農畜産物輸出货量	2,151t (R5)	集計中					2,366t (R11)	—
多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	「オホーツク地域に行ってみよう」と考える人の割合	60.4% (R5)	58.9% (R6)					72.1% (R11)	81.7%
	観光入込客数	859.3万人 (R5)	903.6万人 (R6)					988.0万人 (R11)	91.5%
	管内のスポーツ合宿実施件数	280件 (R4)	321件 (R5)					増加させる (R11)	—
	管内空港利用客数	83.4万人 (R5)	87.7万人 (R6)					116.2万人 (R11)	75.5%
オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト	新規高卒者の管内就職内定率	67.4% (R5)	73.2% (R6)					76.6% (R11)	95.6%
	「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	69.4% 〔R1～R5 平均〕	集計中					73.7% を上回る 〔R7～R11 平均〕	—

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数	14市町村 (R5)	15市町村 (R6)					18市町村 (R11)	83.3%
	新エネルギー発電設備容量	29.1万kw (R3)	31.6万kw (R4)					51.2万kw (R11)	61.7%
	間伐の実施面積	—	集計中					7,857ha/ 年 (R7～R11)	—
	植林の実施面積（人工造林）	—	集計中					2,064ha/ 年 (R7～R11)	—
	エゾシカ捕獲目標達成率	—	集計中					100.0% (R7～R11)	—

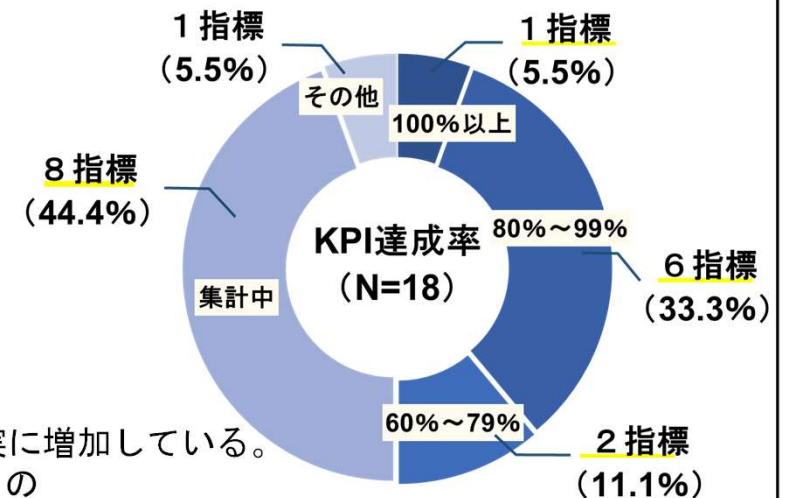
分析・対応方向

✓ 18の評価指標のうち、現時点で算出が可能な9の評価指標において、7項目で80%を超え、うち1項目で目標値を達成した一方、2項目において80%未満の進捗率となった。

✓ 『観光入込客数』は、海外向けプロモーションの実施のほか円安の影響等によるインバウンドの増加などにより、コロナ感染拡大前の水準を上回った。
⇒市町村と連携した道内外における観光プロモーションを実施するなど、引き続き、交流・関係人口の拡大に取り組む。

✓ 『新規高卒者の管内就職内定率』は、基準年を上回る水準となり、地元への就職志向が強い傾向がみられた。
⇒市町村や関係団体と連携した地元愛の醸成に向けた取組を推進するなど、引き続き、若年層の地元定着促進に取り組む。

✓ 『ゼロカーボンシティ表明市町村数』は、脱炭素に向けた機運の高まりにより着実に増加している。
⇒引き続き、「オホーツク流氷トラスト運動」の周知PRや「ゼロカーボン北海道」の普及啓発を通じ、地域住民等のゼロカーボンに対する意識醸成に取り組むとともに、管内全市町村のゼロカーボンシティ表明を目指す。



R 7 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
オホーツク「サステナブル」アグリ促進事業	オホーツク管内の輪作体系の確立、耕畜連携の検討、省力化の農業生産を図るスマート農業技術向上や、農業生産工程管理（GAP）の手法の導入により、コスト低減に向けた効率的で生産性・持続性の高い農業を促進する。	①
未来につなげる！オホーツク農業担い手支援推進事業	持続可能なオホーツク農業を確立するため、新規参入者や雇用人材の持続的な確保といった、管内農業担い手への支援や地域農業維持に向けた取組を推進する。	①
オホーツク東部流域材活用推進事業	道内屈指の林業地帯で木材の産地である東部流域において「北見の地域材活用推進の会」と連携し、情報交換会や研修会等を開催するなど、さらなる地材地消と販路拡大の取組を推進する。	①
オホーツク「食」のブランド加速化事業	オホーツク地域のブランド力向上のため、地域の産官学金の連携により地域資源を活かした加工食品の国内外への発信、販路開拓を行うとともに、食関連事業者の人材育成、商品の開発や磨き上げ等を支援し、食関連産業の振興を図る。	②
知る・学ぶ・食べるdeオホーツク農業応援事業	オホーツク地域の農業・農畜産物の魅力を「知る」、「学ぶ」、「食べる」ことにより、管内の農村地域の活性化や地産地消を促進し、生産者を応援するとともに、生産者、消費者、実需者の新たな連携（つながり）を創出する。	②③
持続可能でcoolなオホーツク！連携推進事業	社会変革を捉えた持続可能で活力ある地域づくりに向け、地域の多様な主体と協働し、地域資源を活用した脱炭素化に資する取組や魅力発信の強化を図る。	③④⑤
世界とつながるオホーツク観光ステップアップ事業	観光需要の回復と、新たな需要の獲得に向け、受入体制整備、国内外に向けた情報発信強化、プロモーションに取り組み、年間を通じた観光の振興を図る。	③

R 7 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
オホーツク つなぐ！農林水担い手確保推進事業	オホーツク地域の農林水産業の担い手確保と定着のため、農林水産業が一体となって一次産業と地域の魅力を発信し管内に人を呼び込むのと同時に、若手就業者が職や地域から離れないようコミュニティの創設、活用により地域への定着を図る。	①④
オホーツクじもと就業促進事業	オホーツク管内企業の人材確保と職場定着を促進するため、新規学卒者や一般求職者等に対する雇用機会の創出や企業の魅力発信を行う。	④
ゼロカーボンオホーツク推進事業	2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指すゼロカーボン北海道の実現に向け、環境保全活動と地域PRを行う「オホーツク流水トラスト運動」と連動しながら、脱炭素機運醸成や行動変容を促進し、持続可能な地域づくりを進めるとともに「環境先進地オホーツク」というクリーンイメージの形成を図る。	⑤
「世界自然遺産・知床の日」活性化推進事業	平成28年3月に設定した「知床の日(1/30)」の理解・浸透を促進するため、地域住民や来訪者等を対象として講演会やPR活動を行うとともに知床世界自然遺産地域における来訪者の回復に寄与する。	⑤
広葉樹でアレコレ道(Do)！？地域材利用促進事業	ゼロカーボン北海道の実現に資する地域材利用の促進に向けて、昨今の広葉樹材の需要の高まりに対応するため広葉樹材の供給力強化や地域の広葉樹製品の魅力発信など木材流通の川上から川下まで一体となった取組を展開する。	①⑤

※オホーツク連携地域が推進するプロジェクト

① 省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	② 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト
③ 多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	④ オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト
⑤ 豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	